

平成30年度進捗評価シート

奈良市歴史的風致維持向上計画（平成27年2月23日認定）  
（最終変更平成31年3月29日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)

1 計画の実施・推進体制	1
--------------	---

②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)

1 景観計画	2
--------	---

③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)

1 国宝春日大社本社本殿ほか13棟保存修理事業(平成28年度で事業完了)	
2 史跡興福寺旧境内保存修理事業	3
3 都市景観形成地区建造物保存整備事業(修理事業)(平成28年度で事業終了)	
4 都市景観形成地区建造物保存整備事業(修景事業)	4
5 町家建物内部改修モデル事業(平成27年度で事業終了)	
6 奈良町町家バンク事業	5
7 文化財調査事業	6
8 三条線電線類美化事業	7
9 猿沢線街路整備事業	8
10 歴史的風致形成建造物保存整備事業	9
11 ナラ枯れ等対策事業	10
12 奈良のシカ保護育成事業	11
13 伝統的建築文化継承事業	12
14 なら工芸館活用事業	13
15 伝統祭礼・行事助成事業	14
16 奈良大茶会珠光茶会開催事業	15
17 春日大社写生会及び清書会開催支援事業	16
18 なら国際映画祭・ならシネマテーク開催支援事業	17
19 入江泰吉記念写真賞・ならPHOTO CONTEST開催支援事業	18
20 入江泰吉旧居活用事業	19
21 奈良町にぎわいの家活用事業	20
22 観光案内板整備事業	21
23 文化財解説板整備事業	22
24 奈良まちかど博物館事業	23
25 観光客誘致事業(奈良町にぎわい事業)	24
26 史料保存館活用事業	25
27 文化財講座開催事業	26
28 奈良町おもてなし事業	27
29 地域の伝統行事発信事業	28

④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)

1 文化財調査、指定	29
2 文化財の修理(整備)、管理、周辺環境の保全	30
3 文化財の防災	31
4 文化財に関する普及・啓発の取組、民間団体への助成・支援や連携・協力した取組など	32

⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)

1 元林院演舞場ならまちの宝	33
奈良市が改修、お披露目	
快適「演舞場」お披露目	
奈良・元林院町で改修完了	

⑥その他(効果等)(様式1-6)

1 「観光の振興」に向けた官民協働の取組	34
----------------------	----

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	35
-------------------------	----

評価軸①-1  
組織体制

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
計画の実施・推進体制		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

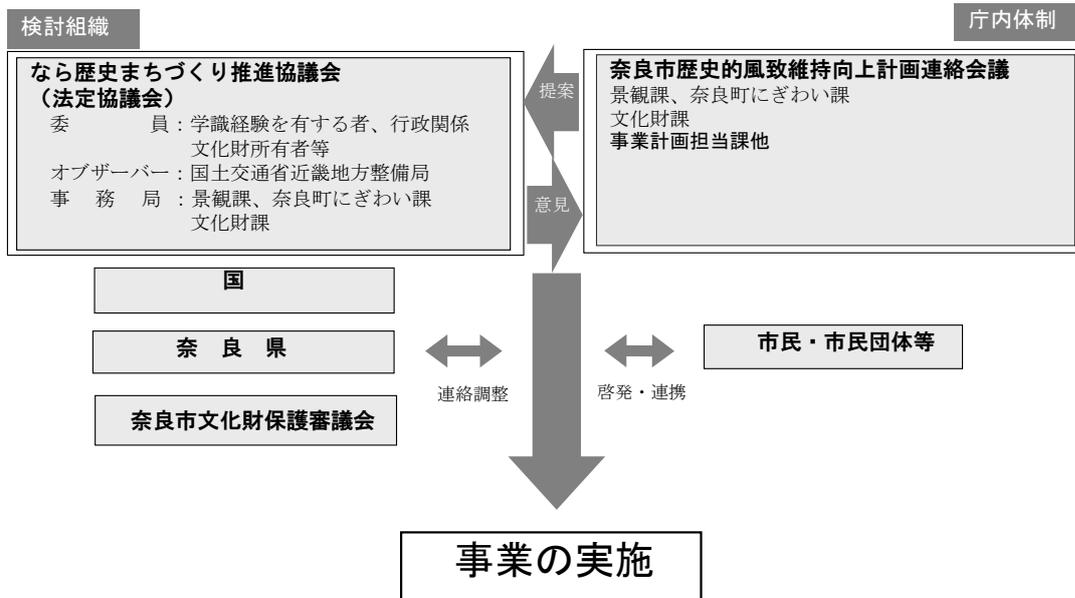
計画に記載している内容 景観まちづくりの担当部局である都市整備部景観課、観光担当部局である観光経済部奈良町にぎわい課、文化財保護担当部局教育総務課文化財課を中心とした庁内組織である「奈良市歴史的風致維持向上計画連絡会議」と、学識経験者らで構成される「なら歴史まちづくり推進協議会」が連絡調整をおこないながら事業を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成31年2月26日に「なら歴史まちづくり推進協議会」を開催した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



●なら歴史まちづくり推進協議会の様子  
平成31年2月26日撮影

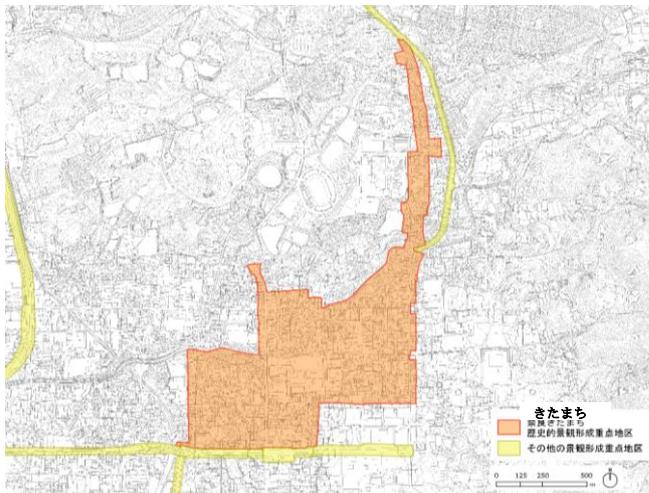
評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目		評価対象年度	平成30年度 現在の状況
景観計画			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
奈良市景観計画においては、市全域を景観計画区域に指定し、景観形成の方針やデザインガイドラインを定めている。また、元興寺周辺については奈良町歴史的景観形成重点地区に指定し、歴史的な町並みに配慮したきめ細かな景観の誘導を図っている。また、三条通り、大宮通りを沿道景観形成重点地区、近鉄奈良駅周辺とJR奈良駅周辺はまちなか景観形成重点地区に指定し、都市的な景観と歴史的な景観との調和を図っている。			
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
奈良市眺望景観保全活用計画に基づく眺望保全、また奈良町の歴史的風致の維持向上をより効果的に推進するため、現在の地区を拡大し、「ならまち歴史的景観形成重点地区」並びに「きたまち歴史的景観形成重点地区」の追加指定を含む景観計画の改正を平成28年度に行った。なお、「奈良町都市景観形成地区」の平成30年度の届出数は、11件であった。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

●きたまち歴史的景観形成重点地区

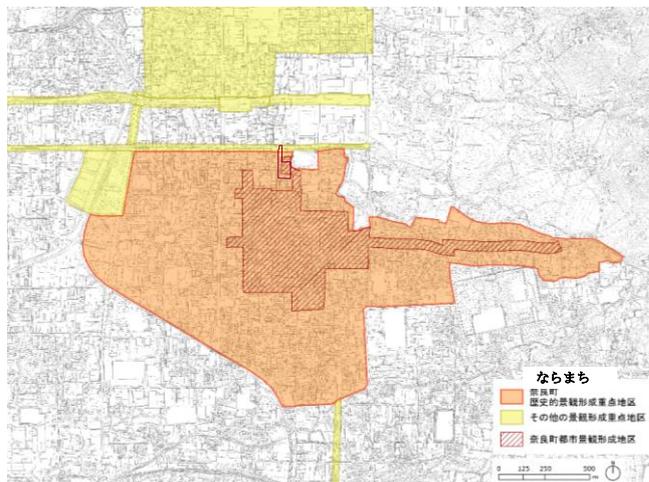


●奈良市を代表する眺望景観



大池からの眺望

●ならまち歴史的景観形成重点地区



平城宮跡からの眺望

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
史跡興福寺旧境内保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成10年度～令和6年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存整備費補助金、県単独事業市単独事業(奈良県文化財保存事業費補助金)、市単独事業(奈良市文化財保存事業費補助金)

計画に記載している内容 興福寺旧境内の主要堂宇地区及びその周辺地区において、遺構等の保存・活用整備を行う。発掘調査を実施し、その成果に基づいて基壇の復元や表示による整備を行う他、案内板、解説板、管理用の柵や門等の整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

本事業に対し、文化財の保存が適正に行われるよう補助金を交付。  
 事業内容:平成30年度は、中金堂回廊基壇(北西角・北東角)復元整備工事、前庭園路石敷設置・前庭張芝の実施及び中金堂回廊管理柵設置を施工。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない  
 整備については、史跡整備検討委員会に諮り、現状変更等許可申請を文化庁に申請し、実施方法・史跡の影響などについて協議を行っている。

状況を示す写真や資料等



平成30年10月10日撮影



平成30年10月6日撮影

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況
都市景観形成地区建造物保存整備事業(修景事業)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成 6年度～令和2年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業) 平成23年度～令和2年度、単独事業 平成6年度～

計画に記載している内容 奈良町都市景観形成地区内の歴史的な町並み景観を保全するため、空き地などに景観形成基準に適合する建築物や工作物を新築するときに、修景事業とし補助金を交付する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成29年度に補助要綱を変更し、修景内容について地域で活躍する建築士から意見を聴取することで、より良い内容で修景できるようにした。平成28年度は2件実施したが、平成29年度、平成30年度は応募がなかったため実施していない。当該エリアでの修景事業数が累計63件となり、補助金を利用せずに自費で伝統的建造物の要素を取り入れた建物とするなど住民意識が向上し、周辺環境に効果が広がっている。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

●平成30年度補助実績

なし

●過去の修景工事例



【工事前】平成28年6月15日



【工事後】平成28年12月7日

実施年度	所在地	用途	主な修景内容	補助額(円)	補助率
平成28年度	奈良市今御門町	店舗	屋根工事、塗装工事 建具取替	3,742,000	50%

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
奈良町町家バンク事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成23年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 登録したい人への説明会や登録物件の測量、町家の改修・活用事例の紹介、貸主と借主の仲介などを行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

町家バンクの登録希望者に対しては随時面接を実施して制度について説明をしたのち、登録を行っている。利用希望者に対しては現地説明会を実施、貸主と借主の引き合わせを行っている。併せて、登録物件の調査を行い、ホームページで公開するほか、奈良町内の空き家調査を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

●町家バンクの登録状況 ※件数は平成23年7月～の累計数、( )内は平成30年4月～の累計数

登録物件数 31件(1件)  
 利用希望者数 387件(75件)  
 成約数 18件(4件)

●成約物件の活用事例 ※件数は平成23年7月～の累計数、( )内は平成30年4月～の累計数

住居 2件(0件)  
 店舗 9件(1件)  
 ゲストハウス 3件(0件)  
 カルチャー教室 3件(1件)  
 工房 1件(0件)



成約物件写真(平成29年10月成約)

評価軸③-7 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
文化財調査事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	歴史資料調査 平成8年度～ 近世近代建造物調査 平成24年度～		
支援事業名	市単独事業（庭園調査は奈良市と奈良文化財研究所）		
計画に記載している内容	未指定・未登録文化財の調査及び資料収集を行い、その実態把握に努め、指定・登録など今後の保護を推進するための基礎資料を作成する。歴史資料調査、近世近代建造物調査、庭園調査等を実施する。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
<歴史資料調査>大宮家文書の調査を実施 <近世近代建造物調査>奈良町の町家等4件の詳細調査を実施。その他、西部地域[富雄地区]で社寺建築の悉皆調査を実施。また、専門家から意見・助言を得るためアドバイザー会議を1回開催。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
●近世近代建造物調査 平成30年9月20日撮影			

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
三條線電線類美化事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成27年度～令和6年度

支援事業名 市単独事業、防災・安全交付金の活用を検討(平成28年度～令和6年度)

計画に記載している内容 三條通の上三條町から登大路町までの区間(延長約800m)の電線類の地中化を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

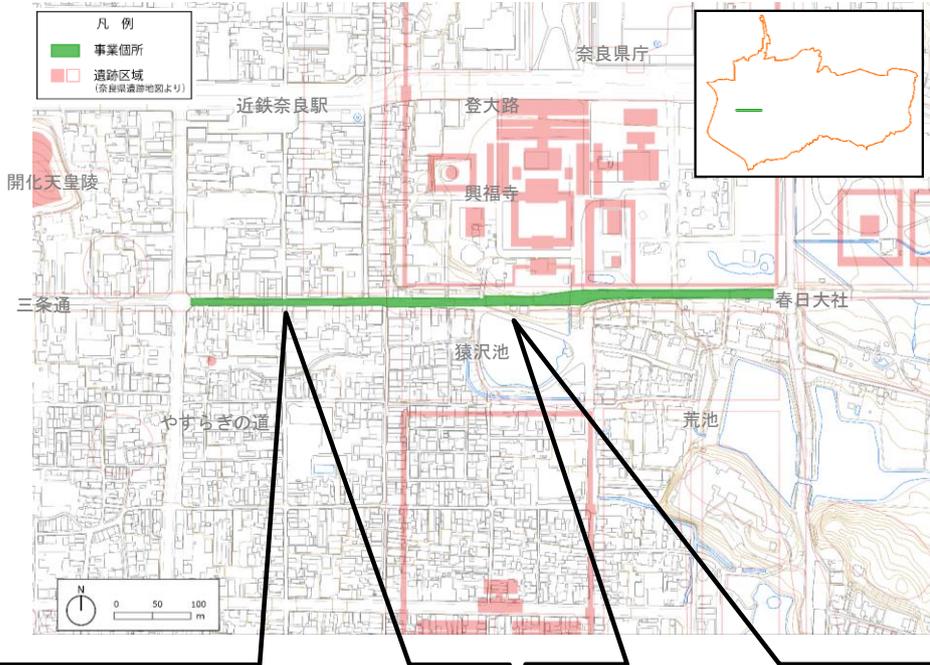
平成29年度以降第一期工区猿沢池西側から一の鳥居前まで。L=400m片側を関係者と協議を行い計画を進めてきたが、各管理者との協議の中で枝管の調査も必要となり、枝管の調査のため委託延長を100m追加し、L=500mに委託延長を変更した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

●三條線電線位置図(緑着色部分)



平成30年3月12日撮影



平成30年3月22日撮影

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
猿沢線街路整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成27年度～令和6年度		
支援事業名	市単独事業、防災・安全交付金(街路事業)の活用を検討		
計画に記載している内容	猿沢線の鶴福院町区間(延長120m)の道路拡幅を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
地元でまちづくり研究会が立ち上がり、道路拡幅も含めたまちづくりについて話し合いが行なわれている。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	地元まちづくり研究会の動向を伺う。		
状況を示す写真や資料等			

●現況写真



平成30年3月15日撮影



平成30年3月15日撮影

評価軸③-10 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成30年度																																																
項目		現在の状況																																																	
歴史的風致形成建造物保存整備事業(修理事業)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手																																																	
事業期間	平成27年度～令和2年度（平成27、28年度は、奈良町都市景観形成地区を除いた範囲で実施）																																																		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業) 平成23年度～令和2年度																																																		
計画に記載している内容	奈良町及び奈良公園地区内にある、建築物の外観修理に対して補助金を交付する。奈良町都市景観形成地区以外に点在している、歴史的建造物資産をいかに保存活用するかが大きな課題であり、その課題に戦略的に取り組む。																																																		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で																																																			
平成29年度から補助要綱を改正し、修理内容が基準を満たしているかどうかの確認を厳格化した。平成30年度は7件の助成を行い、累計19件となった。平成30年度実施事業のうち4件は未利用だったが、当該事業を機に内部改修等が実施されるなど、歴史的建造物の利活用が促進された。(利活用が促進された物件累計数7件)																																																			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)																																																		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない																																																			
状況を示す写真や資料等																																																			
<p>●平成30年度補助実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>所在地</th> <th>用途</th> <th>内容</th> <th>補助額(円)</th> <th>補助率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>紀寺町</td> <td>ギャラリー</td> <td>屋根葺替、外観復原</td> <td>3,996,000</td> <td>80%</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>紀寺町</td> <td>寺院塀・ゲストハウス</td> <td>外壁修理</td> <td>786,000</td> <td>80%</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>今御門町</td> <td>店舗兼住宅</td> <td>屋根葺替、外観復原</td> <td>6,730,000</td> <td>80%</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>東寺林町</td> <td>店舗</td> <td>屋根葺替、外観復原</td> <td>3,943,000</td> <td>80%</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>水門町</td> <td>門・塀</td> <td>屋根葺替、塗装塗替</td> <td>6,739,000</td> <td>80%</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>紀寺町</td> <td>住宅</td> <td>屋根葺替、建具修理</td> <td>7,603,000</td> <td>80%</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>不審ヶ辻子町</td> <td>住宅</td> <td>屋根葺替、塗装塗替</td> <td>4,553,000</td> <td>80%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※補助額は補助対象部分の修理に要する経費に補助率を乗じた額。                      ※補助率 80%</p> <p>○修理工事例（平成30年度）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>【修理前】平成29年11月28日撮影</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【修理後】平成31年1月11日撮影</p> </div> </div>				番号	所在地	用途	内容	補助額(円)	補助率	1	紀寺町	ギャラリー	屋根葺替、外観復原	3,996,000	80%	2	紀寺町	寺院塀・ゲストハウス	外壁修理	786,000	80%	3	今御門町	店舗兼住宅	屋根葺替、外観復原	6,730,000	80%	4	東寺林町	店舗	屋根葺替、外観復原	3,943,000	80%	5	水門町	門・塀	屋根葺替、塗装塗替	6,739,000	80%	6	紀寺町	住宅	屋根葺替、建具修理	7,603,000	80%	7	不審ヶ辻子町	住宅	屋根葺替、塗装塗替	4,553,000	80%
番号	所在地	用途	内容	補助額(円)	補助率																																														
1	紀寺町	ギャラリー	屋根葺替、外観復原	3,996,000	80%																																														
2	紀寺町	寺院塀・ゲストハウス	外壁修理	786,000	80%																																														
3	今御門町	店舗兼住宅	屋根葺替、外観復原	6,730,000	80%																																														
4	東寺林町	店舗	屋根葺替、外観復原	3,943,000	80%																																														
5	水門町	門・塀	屋根葺替、塗装塗替	6,739,000	80%																																														
6	紀寺町	住宅	屋根葺替、建具修理	7,603,000	80%																																														
7	不審ヶ辻子町	住宅	屋根葺替、塗装塗替	4,553,000	80%																																														

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
ナラ枯れ等対策事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 毎年

支援事業名 県単独事業

計画に記載している内容 ナラ枯れや鹿害への対策を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成22年8月に春日山原始林周辺で現地調査を実施した結果、ナラ枯れ被害を確認した。ナラ枯れ被害対策として、平成22年度に138本、平成23年度に363本、平成24年度に1,267本、平成25年度2,220本、平成26年度1,177本の駆除及び防除を実施した。平成27年度から平成30年度においては、奈良県が航空機による調査を実施したところ、ナラ枯れ被害が減少していることが確認されている。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



●春日山原始林周辺の様子(奈良県提供)



●春日山原始林周辺の様子(奈良県提供)

評価軸③-12 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成30年度 現在の状況		
項目					
奈良のシカ保護育成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手			
事業期間	毎年				
支援事業名	県・市・春日大社共同事業				
計画に記載している内容	一般社団法人奈良の鹿愛護会や鹿サポーターズクラブへの補助を行い、頭数調査などの調査研究、負傷・疾病鹿の救助、巡回パトロール、人と鹿の共生のための各種イベント、角伐りなどの伝統行事を行う。また、鹿の生態調査、鹿の啓発看板設置などを行う。				
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で					
奈良のシカの生態調査のため、頭数調査を行った。負傷・疾病シカの救助、保護を実施することで奈良のシカの健全な育成を推進した。鹿寄せや、鹿の角きり等の行事、イベントを実施し、シカを身近に感じてもらい、奈良のシカ保護育成への啓発を行なった。					
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)				
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない					
状況を示す写真や資料等					
<ul style="list-style-type: none"> <li>●平成30年度「奈良のシカ」生息頭数調査                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査日時 平成30年7月15日・16日 午前5時～8時</li> <li>・調査地域奈良公園域内(別途図面参照)</li> <li>・調査人員延べ74人</li> </ul> </li> <li>○奈良公園の鹿の総数1,633頭 (うち鹿苑内収容頭数273頭) (平成30年7月16日現在)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>①奈良公園内生息頭数                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>総頭数1,360頭(前年比+134)</li> <li>オス355頭(前年比+94)</li> <li>メス767頭(前年比+36)</li> <li>子鹿238頭(前年比+4)</li> </ul> </li> <li>②鹿苑内保護収容頭数                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>総頭数273頭(前年比+1)</li> <li>オス160頭(前年比+8)</li> <li>メス113頭(前年比-7)</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>					
●鹿の角きり行事 平成30年10月7日撮影					
					
●鹿寄せ 平成30年7月21日撮影					

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
伝統的建築文化継承事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成27年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 奈良の伝統的な社寺や町家等に用いられている建築技術の保存に向けたノウハウを伝え、後継者を育成するための講座の開催、建築の伝統的な技法に関する相談窓口の開催、また具体的に町家の修理や活用の実践などを行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

公益社団法人日本建築家協会近畿支部奈良地域会の「奈良の建築文化遺産の継承と保全・活用の体制づくり事業」を平成31年2月2日に奈良町物語館に於いて「アジア文化遺産講演会」と題して開催した。保存すべき文化的価値の高い建造物等の発掘・把握事業、保存に向けての啓発事業、保存に伴う技術の継承と方策提案事業、修理、改修・利活用についての話を行った。(参加者40人)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

●アジア文化遺産講演会の様子



評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
なら工芸館活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成12年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 奈良の工芸である漆器、一刀彫、赤膚焼、乾漆、古楽面、筆、墨、奈良晒、鹿角細工等の作品や制作道具等を展示する。また、伝統工芸品の斡旋販売も行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

計画に記載している内容のほか、定期的に制作実演や制作体験を行っており、レンタルギャラリースペースでは作家や趣味の団体による展示会も頻繁に行われている。特に年に1回正倉院展の時期に合わせて開催される「奈良工芸フェスティバル」ではたくさんの来場者でにぎわっており、伝統工芸の観点から奈良の歴史的な景観の向上に役立っている。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

予算が限られている中で、近年は常設展示を入れ替え、近畿展や珠光茶会にあわせた茶道具作品の特別展などを行い入館者数の増加を図っている。

状況を示す写真や資料等

●若手作家による制作実演の様子

(参考)過去3年間の入館者数  
 平成28年度 48,360人  
 平成29年度 47,007人  
 平成30年度 47,198人



平成30年10月31日撮影



平成30年10月29日撮影

●制作体験教室の様子

●制作体験教室  
 過去3年間の参加者数  
 平成28年度 450人  
 平成29年度 466人  
 平成30年度 522人



平成30年10月29日撮影



平成30年9月16日撮影

●奈良工芸フェスティバル 展示・販売の様子

●奈良工芸フェスティバル  
 過去3年間の入場者数  
 平成28年度 5,453人  
 平成29年度 5,514人  
 平成30年度 5,774人



平成30年10月27日撮影



平成30年10月27日撮影

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
伝統祭礼・行事助成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 毎年

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 伝統祭礼・行事である春日若宮おん祭、薪御能、采女祭等を行う団体に助成する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

奈良市観光協会より伝統行事の保存会等へ補助金を交付することで、各種行事を実施し、多くの市民及び観光客等に、伝統文化を身近に触れてもらう機会を提供した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

- 春日若宮おん祭(奈良市観光協会より助成)  
 【主催】春日若宮おん祭保存会事務局  
 平成30年12月15日:大宿所詣、御湯立、大宿所祭  
 平成30年12月16日:大和土宵宮詣、田楽座宵宮詣、宵宮祭  
 平成30年12月17日:遷幸の儀、暁祭、本殿祭、お渡り式、  
 (人出130,000人) 南大門交名の儀、松の下式、競馬、  
 お旅所祭、稚児流鎗馬、神楽、東遊、  
 田楽、細男、猿楽、舞楽、和舞、遷幸の儀  
 平成30年12月18日:奉納相撲、後宴能



おん祭お渡り式(12月17日撮影)

- 薪御能(奈良市観光協会より助成)  
 【主催】薪御能保存会  
 平成30年5月18日:
  - ・咒師走の儀(金春流能「翁」)
  - ・南大門の儀(宝生流能「俊成忠度」、大藏流狂言「雁磔」、金剛流能「黒塚」)
 平成30年5月19日:
  - ・御社上の儀(金春流能「玉葛」)
  - ・南大門の儀(金春流能「頼政」、大藏流狂言「梟」、観世流能「巻絹」)

- 采女祭(奈良市観光協会より助成)  
 【主催】采女祭保存会  
 平成30年9月24日開催
  - ・花扇奉納行列
  - ・花扇奉納神事
  - ・「采女ものがたり」うたがたり
  - ・管絃船の儀
 (人出20,000人)



花扇奉納行列(9月24日撮影)



評価軸③-16 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成30年度 現在の状況
項目			
奈良大茶会珠光茶会開催事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成25年度～		
支援事業名	観光戦略課と奈良市観光協会で珠光茶会実行委員会の事務局を担当		
計画に記載している内容	茶道の源流ともいえる奈良の地で、「わび茶」を創始した奈良出身の珠光にちなみ、「奈良大茶会珠光茶会」を開催する。お茶席の開催だけでなく、その他のお茶に関する企画等も行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
ならまち地区で元興寺、奈良町にぎわいの家等でお茶席を開催した。来場者数 第一回(平成25年度)約5,900人、第二回(平成26年度)約7,400人、第三回(平成27年度)約9,400人、第四回(平成28年度)約8,400人、第五回(平成29年度)約8,300人、第六回(平成30年度)約6,700人であった。閑散期である冬の時期に全国各地から多くの方にお越しいただいており、成功している事業であると考えている。			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	茶会にお越しいただいた方にならまちを周遊していただけるよう検討していく。		
状況を示す写真や資料等			
			
●第六回珠光茶会 元興寺 武者小路千家 平成31年2月8日撮影			
			
●第六回珠光茶会 奈良町にぎわいの家 吉川宗文社中 平成31年2月9日撮影			
●第六回奈良大茶会 珠光茶会 平成31年2月6日～10日			
参加社寺:春日大社、東大寺、元興寺、大安寺、西大寺、唐招提寺、薬師寺、法華寺			

評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
春日大社写生会及び清書会開催支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成14年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 世界遺産春日大社で開催される写生会及び清書会に対する助成を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成30年度は写生会に218名、清書会に254名の参加があった。  
世界遺産である春日大社の境内において、子どもたちを対象に文化活動の場を提供できた。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

市の補助金の交付により、引き続き事業の実施を支援する。

状況を示す写真や資料等



●春日大社親と子の写生会の様子  
平成30年7月22日撮影



●春日大社清書会の様子  
平成30年7月25日撮影

評価軸③-18 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成30年度 現在の状況
項目			
なら国際映画祭開催支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	なら国際映画祭 平成24年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	なら国際映画祭では、プロジェクションアートや新人監督作品や学生映画作品などの上映を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成30年度は「なら国際映画祭2018」がならまちセンター周辺で開催され、国内外から約20,000人の動員があった。また、若手映画監督作品の上映やボランティアの参加などを通じて、映画に親しむ機会、奈良の魅力に触れる機会を提供することで、本市の文化振興に寄与した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	次年度はイベント開催年であり、補助金の交付により支援を行う予定。		
状況を示す写真や資料等			
			
			
			
●なら国際映画祭の様子			

評価軸③-19 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成30年度 現在の状況
項目			
入江泰吉記念写真賞・ならPHOTO CONTEST開催支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成25年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	入江泰吉氏の写真芸術は、奈良市民の誇りであるとともに、奈良市にとって貴重な財産であり、それらを活かしながら、文化振興計画及び創造都市の理念に基づいた文化政策を達成するため、2年に一度入江泰吉記念写真賞及びなら PHOTO CONTESTを開催する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成30年度に両賞第3回を開催。第3回入江泰吉記念写真賞には95点、ならPHOTO CONTESTには446点の応募があり、それぞれの受賞者を決定した。同年度中に受賞作品の展示会を入江泰吉記念奈良市写真美術館において開催予定。また、入江泰吉記念写真賞受賞作の写真集の制作を行う。作品募集・展示会を通して、日本人の心のふるさとである奈良大和路を約半世紀にわたって撮り続けた入江氏の業績を顕彰し、本市の文化振興に寄与することができた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	より質の高い写真賞を実施するため、また、事業の周知を図るため、第3回受賞作品の巡回展を行うことと並行し、第4回の準備を進める。		
状況を示す写真や資料等			
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>●第3回作品募集告知ポス</p> </div> <div style="width: 60%;"> <p>●第3回入江泰吉記念写真賞受賞作「波を綴る」(真鍋奈央)より</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="width: 30%;"> <p>●第3回ならPHOTOCONTEST なら賞受賞 「奈良の歴史と文化の香り」(川邊由紀典)より</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>●第3回ならPHOTOCONTEST 日経新聞社賞受賞 「栢森の網掛け神事」(西村充康)より</p> </div> </div>			

評価軸③-20

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成30年度 現在の状況
項目			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
入江泰吉旧居活用事業			
事業期間	平成26年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	平成27年3月に開館する「入江泰吉旧居」において、文化講座や暗室の活用等の事業を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成30年度は48件の事業を実施し延べ、480人の参加があった。(参加者数については有料の事業のみ集計)事業は写真家・入江泰吉を偲ぶことのできる講演や、周辺の歴史文化を学ぶことのできる講座等を開催した。これらの事業により、入江泰吉旧居を歴史的風致向上施設として有効に活用できた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画通り進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



●講座:入江泰吉を語り継ぐ①  
平成30年5月13日撮影



●講座:入江泰吉を語り継ぐ②  
平成30年6月23日撮影

評価軸③-21

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成30年度 現在の状況
項目			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
奈良町にぎわいの家活用事業			

事業期間 平成27年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 地域の方々が、集い、楽しみ、伝えあう地域コミュニティの活動拠点とするとともに、奈良町観光の拠点の一つとして、外国人や修学旅行生などの文化交流の体験施設として活用し、さらには、大学とコラボレーションすることにより、茶道や伝統行事等の奈良町文化の発信基地とする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

大正6年に建築された旧大西家住宅を修理・改修し、平成27年4月18日から奈良町にぎわいの家として一般公開しており、平成30年度も一般公開した。  
町家の空間を活かしたイベントや伝統行事等の実施により、奈良町文化の発信及び継承に寄与した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

- 平成30年度実施事業の例
- 体験イベント
  - 季節行事 1回 30人
  - 四季の料理 6回 180人
  - 茶会 12回 418人
  - かまど体験など 35回 988人
  - 絵手紙・そろばん・水墨画体験など 47回 485人
- 講座
  - 二十四節気講座 4回 35人
  - 奈良町の風習 8回 167人
  - 町家講座 5回 93人
  - 暮らしの歌(短歌) 4回 71人
  - 気軽に学び講座(仏像・着物) 5回 316人
  - つし二階アート(作家トーク) 1回 14人
  - その他 1回 30人



●かまど体験 平成29年8月22日撮影

- その他
  - 展示(花・アート展)など 81回
  - 町家相談会 3回 3人



●奈良町「くらし」講座  
奈良町かまどサミット 平成29年11月26日撮影



●朗読劇 平成29年11月26日撮影

評価軸③-22

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況
観光案内板整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成25年度～令和6年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)(奈良町及び奈良公園重点地区内)、市単独事業(奈良町及び奈良公園重点地区外)

計画に記載している内容 観光案内板の設置

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成25年度にならまち観光の拠点となる箇所に9基設置し、平成27年度には3基設置した。  
 平成29年度は3基設置したほか、民間より2基の寄贈があった。  
 平成30年度は観光案内看板を2基、観光名所解説看板を20基設置した。(累計:案内看板16基、解説看板21基)  
 きたまちエリアの看板数が1基から23基に増え、回遊性のある観光案内が可能となった。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

●平成30年度 観光案内看板・観光名所解説看板設置実績

No.	設置場所(施設名等)	種別
1	半田横町 (奈良市きたまち鍋屋観光案内所付近)	観光案内看板
2	今小路町 (東大寺転害門付近)	
3	東大寺戒壇院 (雑司町)	
4	天然記念物「知足院ナラノヤエザクラ」(雑司町)	
5	佐保川と桜並木 (法蓮桜町)	
6	油阪町と蓮長寺 (油阪町)	
7	空海寺 (雑司町)	
8	内侍原町と八嶋神社 (内侍原町)	
9	船橋町と船橋通り商店街 (油阪町)	
10	油留木町	観光名所解説看板
11	称名寺 (菖蒲池町)	
12	南都八景「雲居坂の雨」と押上町 (押上町)	
13	大豆山突抜町と尚教舎大豆山第五番小学校跡地 (大豆山突抜町)	
14	旧鍋屋交番きたまち案内所(奈良市きたまち鍋屋観光案内所) (半田横町)	
15	手貝町と奈良市きたまち転害門観光案内所 (手貝町)	
16	北川端町と普光院 (北川端町)	
17	五劫院 (雑司町)	
18	京街道と南都八景 (登大路町)	
19	奈良奉行所跡 (北魚屋東町)	
20	水門町と入江泰吉 (水門町)	
21	高天市町と高天市恵比寿神社 (高天市町)	
22	奈良廻り八か村と幻の大仏鉄道 (芝辻町一丁目)	

●観光名所解説板設置事例(N0.18 京街道と南都八景 平成31年3月29日撮影)



評価軸③-23

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
文化財解説板整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 毎年

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 指定・登録文化財の内容や価値を解説する文化財解説板を設置する。(毎年3箇所程度)

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市内の指定文化財等の内容や価値を周知し、その保存活用について理解と関心を深めてもらうために、所在地に対象文化財の内容説明文を中心に、周辺文化財を含めた位置図ならびに外国語(英・中・韓)による名称表記を添えた解説板を設置している。平成30年度には4基を製作し、平成19年度に現行形式での解説板設置を始めて以降の設置数は58基となる。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



●奈良県指定有形文化財(阿弥陀寺本堂ほか)解説板  
平成30年12月27日撮影

評価軸③-24  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
奈良まちかど博物館事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成15年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 いままでの博物館とは違い、地域の人たちがボランティアの館長として仕事場の一角や個人の収集品等を公開し、地域の伝統の技や文化に触れる機会を提供する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

奈良きたまち地区は平成15年度に10館が開館(平成26年度に2館が開館)、ならまち地区は平成21年度に20館が開館(26年度に2館が閉館、28年度に2館が閉館、29年度に1館が開館)している。  
また、平成28年度から各館長にアンケートを実施し、内容をイラストMAPに反映させ毎年更新するなど、平成30年度も事業のよりよい運営を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



●きたまちまちかど博物館MAP



●ならまちまちかど博物館MAP

<b>評価軸③-25</b> <b>歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項</b>							
	<table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>評価対象年度</th> <th>平成30年度 現在の状況</th> </tr> <tr> <td>観光客誘致事業(奈良町にぎわい事業)</td> <td></td> <td> <input type="checkbox"/>実施済  <input checked="" type="checkbox"/>実施中  <input type="checkbox"/>未着手                 </td> </tr> </table>	項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況	観光客誘致事業(奈良町にぎわい事業)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況					
観光客誘致事業(奈良町にぎわい事業)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手					
事業期間	毎年(市単独事業)、平成28年度(集約促進景観・歴史的風致形成推進事業)						
支援事業名	市単独事業、集約促進景観・歴史的風致形成推進事業						
計画に記載している内容	・宿泊観光客を対象としたならまちナイトカルチャーや修学旅行生を対象とした出前カルチャー、奈良町を巡るウォーキングイベントなど、伝統芸能の鑑賞や工芸体験などができる様々なイベントを実施する。 ・元林院検番演舞場の修理を実施する。						
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で							
県外での広報を強化したところ、1日あたりの来場者数が前年から約1.6倍増加(うち、宿泊を伴う参加者は1.5%増加)した。 修理した元林院検番演舞場を会場に伝統芸能の体験に特化したイベントを実施したところ、参加者の92.3%が良かったと評価し、奈良町の文化、歴史への理解につながった。							
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)						
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない							
状況を示す写真や資料等							
<p>●平成30年度 真夏の怪談 in 元興寺 実施状況</p> <table border="1"> <tr> <th>開催日時</th> <th>参加人数</th> </tr> <tr> <td>平成30年7月27日(金)、29日(日)、8月3日(金)、4日(土)</td> <td>437人</td> </tr> </table> <p>演目: 落語・講談</p> <div style="text-align: right;">  <p>真夏の怪談 in 元興寺 チラシ</p> </div>		開催日時	参加人数	平成30年7月27日(金)、29日(日)、8月3日(金)、4日(土)	437人		
開催日時	参加人数						
平成30年7月27日(金)、29日(日)、8月3日(金)、4日(土)	437人						
<p>●平成30年度 まち歩きイベント実施状況 日本文化探訪 in ならまち(元林院)</p> <p>開催日程: 平成31年2月1日～2月3日 参加人数: 55人</p> <div style="text-align: right;">  <p>●まち歩きイベントの様子 平成31年2月1日撮影</p> </div>							

評価軸③-26 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
史料保存館活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	毎年		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	館蔵品を活用し、古文書や絵図等の展示や講座を開催する。 (企画展示2回、特別陳列12回、歴史講座1～2回程度)		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
館蔵の歴史資料を活用した企画展示を4回、スポット展示の後継である特別陳列「ならまち歳時記」12回、歴史ミニ講座9回、また周辺施設や団体との共催事業として、奈良町にぎわいの家での出張展示4回、展示テーマにちなむ解説付きガイドツアー(観光ボランティアの会と共催)4回、中央図書館で奈良町の古文書等をテキストにした古文書講座(連続2回)を開催。この他ならまちわらべうたフェスタに参加し、大和のわらべうた資料の紹介を行った。これらを通して、歴史と文化を活かしたまちづくりへの理解を深める機会とした。			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<ul style="list-style-type: none"> <li>●「企画展示」</li> <li style="padding-left: 20px;">奈良奉行所 5月 2日(水) ～ 7月22日(日) 8,684人</li> <li style="padding-left: 20px;">尾花座－芝居小屋から映画館へー 7月24日(火) ～10月 8日(日) 6,955人</li> <li style="padding-left: 20px;">奈良の墨－伝統産業の近代－ 11月14日(火) ～ 1月 6日(日) 10,255人</li> <li style="padding-left: 20px;">市章誕生物語－奈良市のはじまりー 1月 8日(火) ～ 3月31日(日) 7,732人</li> <li>●「特別陳列 ならまち歳時記」</li> <li style="padding-left: 20px;">奈良奉行・川路聖謨と桜 4月 3日(火) ～ 4月30日(月) 2,923人</li> <li style="padding-left: 20px;">薪能 5月 2日(水) ～ 6月 3日(日) 4,127人</li> <li style="padding-left: 20px;">春日太々神楽 6月 5日(火) ～ 7月 1日(日) 2,731人</li> <li style="padding-left: 20px;">地藏講 7月 3日(火) ～ 8月 5日(日) 3,020人</li> <li style="padding-left: 20px;">山上講 8月 7日(火) ～ 9月 2日(日) 2,823人</li> <li style="padding-left: 20px;">芭蕉の句と大和名所 9月 4日(火) ～ 9月30日(日) 2,800人</li> <li style="padding-left: 20px;">鹿の角きり 10月 2日(火) ～10月13日(土) 1,529人</li> <li style="padding-left: 20px;">正倉院開封の儀 10月16日(火) ～11月11日(日) 4,216人</li> <li style="padding-left: 20px;">春日若宮おん祭 11月13日(火) ～12月24日(月) 4,711人</li> <li style="padding-left: 20px;">奈良町の正月行事 春日講 12月26日(水) ～ 1月27日(日) 2,247人</li> <li style="padding-left: 20px;">近世奈良の茶人 久保権太夫(長闇堂) 1月29日(火) ～ 2月24日(日) 2,632人</li> <li style="padding-left: 20px;">お水取り 2月26日(火) ～ 3月31日(日) 3,336人</li> <li style="padding-left: 20px;">※大和のわらべうた資料紹介(わらべうたフェスタ参加企画) 10月21日(日) 660人</li> </ul>			
			
		●企画展示 展示解説 平成30年27日撮影	
			
		●奈良町にぎわいの家 出張展示 平成30年6月16日撮影	

評価軸③-27 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
文化財講座開催事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	毎年		
支援事業名	市単独事業(一部共催)		
計画に記載している内容	市民を対象に、文化財についての理解を深める講座を開催する。 ・市内各地域の文化財が対象となるよう計画する。・市指定文化財を活用する。・成人向け講座と小学生とその保護者向け講座を開催する。・内容に応じて、講義・現地見学・体験を適宜組み合わせる。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・奈良市文化財講座「奈良の文化財をもっと知る講座2018」 (1) 8月18日「昔のくらし体験 ～かまどでごはんを炊こう!～」 参加者(小学生・保護者) 20名 (2) 9月30日「古仏に親しむ ～西光院・聖光寺・徳融寺の名品見学～」 台風のため開催中止(定員15名) (3) 10月27日「特別史跡・特別名勝 宮跡庭園の特別見学会 (A)園池の修理見学」 参加者 34名 (4) 11月11日「赤膚焼登り窯の保存と活用 ～修理の軌跡と窯元体験その1～」 参加者(小学生以上) 16名 (5) 11月18日「特別史跡・特別名勝 宮跡庭園の特別見学会 (B)近隣の庭園を巡り歩く」 参加者 16名 (6) 2月17日「赤膚焼登り窯の保存と活用 ～修理の軌跡と窯元体験その2～」 参加者(小学生以上) 27名 (7) 3月 9日「文化財を伝える技 ～市指定文化財修理現場見学会～」 参加者(中学生以上) 19名 ※(2)以外は重点区域外での実施			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
●奈良市文化財講座(3) 平成30年10月27日撮影 「特別史跡・特別名勝 宮跡庭園の特別見学会 (A)園池の修理見学」			
			
●奈良市文化財講座(5) 平成30年11月18日撮影 「特別史跡・特別名勝 宮跡庭園の特別見学会 (B)近隣の庭園を巡り歩く」			

評価軸③-28 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成30年度 現在の状況
項目			
奈良町おもてなし事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成28年度～30年度		
支援事業名	市単独事業、社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	明治31年に建築され、現存する京終駅を復元修理する。 ・駅舎待合部分は、観光やまちづくりの情報発信機能を強化する。 ・駅務室部分は、地域の活性化のための施設として活用する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
明治31年に建設された木造の駅舎を往時の姿に復元している。待合室部分(第一期工事)及び駅務室部分(第二期工事)の復元工事が完了し、駅前広場と便所の整備を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		工事着工後に一部解体したところ、建物の耐震補強の必要が生じたことから、工期を延長し対応する。平成30年度3月完了。	
状況を示す写真や資料等			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>●京終駅舎外部写真(第二期工事) 平成30年10月1日撮影</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>●ホーム側写真(第二期工事) 平成30年10月1日撮影</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>●駅務室部分入口写真(第二期工事) 平成30年10月1日撮影</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>●駅務室部分内部写真(第二期工事) 平成30年10月1日撮影</p> </div> </div>			

評価軸③-29

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成30年度 現在の状況
項目			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
地域の伝統行事発信事業			

事業期間 平成30年度～令和2年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 奈良町で継承されてきた民間信仰(春日講、伊勢講、地蔵講、庚申講、観音講など)に由来する伝統行事やお祭りなど、地域住民が主体的に取り組んでいる行事を調査し、発信する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成30年度は、地域が参加する神社のお祭り(夏祭り・秋祭り)14件の聞き取り調査及び現地調査を実施し、また地域住民が主体的に取り組んでいる行事(地蔵盆、講、神社の祭り等)約100件の聞き取り調査を実施した。調査内容をもとに、地域住民、観光客向けの冊子を作成した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

●聞き取り調査



●御霊神社 平成30年8月16日撮影



●狭岡神社 平成30年9月12日撮影

●行事当日の様子



●奈良豆比古神社 平成30年10月8日撮影



●宇手向山八幡宮 平成30年10月3日撮影



●氷室神社 平成30年10月1日撮影



●御霊神社 平成30年10月13日撮影

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
文化財調査、指定		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 未指定文化財を中心に文化財基礎調査を実施  
奈良市指定文化財の指定、登録文化財の登録

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・(1)近世近代建造物調査、(2)月ヶ瀬・都祁地域指定文化財関連調査を計画に従い実施。  
 ・各文化財分野で行ってきた調査の成果をもとに、市指定文化財に2件を新たに指定、1件を追加指定。登録文化財は、奈良町の町家等の登録を進めており、当市から2件(1か所)について新たに意見具申した。また、当市からの意見具申に基づき新たに8件(4か所)が登録された。引き続き、候補物件の調査等を進めている。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
 計画どおり進捗していない

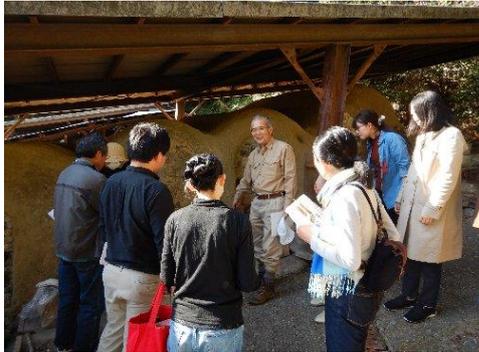
状況を示す写真や資料等



●近世近代建造物調査  
平成30年9月20日撮影

評価軸④-2 文化財の保存又は活用に関する事項		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
文化財の修理(整備)、管理、周辺環境の保全、など		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	国宝春日大社本社本殿ほか13棟保存修理事業、史跡興福寺旧境内記念物保存修理、名勝旧大乘院庭園管理(名勝庭園荒廃防止)事業等、建造物や記念物の修理・整備事業の実施、ナラ枯れ対策などの取り組み		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
評価軸③-2参照。 名勝旧大乘院庭園の管理(荒廃防止)事業に補助金交付。 春日山原始林保全計画検討委員会に出席。 国、県、市指定の建造物、記念物等の文化財(16件)と文化財保存公開施設(3か所)の管理(委託)。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<p>●史跡興福寺旧境内記念物保存修理 評価軸③-2参照</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>平成30年10月10日撮影</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>平成30年10月6日撮影</p> </div> </div> <p>●名勝旧大乘院庭園管理(名勝庭園荒廃防止)事業</p> <div style="text-align: center;">  <p>平成30年7月22日撮影</p> </div>			

評価軸④-3 文化財の保存又は活用に関する事項		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
文化財の防災		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	興福寺の防災施設事業 自主防災体制の充実、強化を図るため、定期的に防災訓練や広報を実施 文化財所有者と合同の消防訓練等		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成31年1月23日・26日、2か所で消防局と文化財所有者の合同の文化財消防訓練を実施。 平成31年1月26日、「文化財防火ゼミナール」開催。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>●文化財消防訓練 平成31年1月23日撮影 会場:奈良国立博物館</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>●文化財防火ゼミナール 平成31年1月26日撮影 会場:興福寺 参加者:126名</p> </div> </div>			

評価軸④-4 文化財の保存又は活用に関する事項		評価対象年度	平成30年度 現在の状況
項目			
文化財に関する普及・啓発の取組、民間団体への助成・支援や連携・協力した取組など		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	文化財講座開催事業・文化財解説板整備事業・史料保存館活用事業 指定文化財の保存管理や継承を担っている団体に対して補助金を交付 団体と適宜連携し、市民と行政の協働による文化財の保存・活用を推進		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
評価軸③-23、③-26、③-27参照。 奈良市文化財講座の(1)は市教育委員会と奈良市生涯学習財団都跡公民館の共催、(4)(6)は市教育委員会と赤膚山元窯保存会の共催。 平成30年度、文化財関係10団体に計7,130千円の文化財補助金を交付。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
評価軸③-23、③-26、③-27参照			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>●奈良市文化財講座(1) 平成30年8月19日撮影 「昔のくらし体験 ～かまどでごはんを炊こう!～」 市民20人(小学生と保護者)</p>			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>●奈良市文化財講座(4) 平成30年11月11日撮影 「赤膚焼登り窯の保存と活用 ～修理の軌跡と窯元体験その1～」 市民16人(小学生以上)</p>			

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

		評価対象年度	平成29年度
報道等タイトル	年月日	掲載紙等	
「歴まち」を巡りカード集めよう	平成30年11月29日	朝日新聞	

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

国土交通省近畿地方整備局が中心として作成した「歴史まちづくりカード」は、歴史まちづくりに取り組む都市の魅力を発信すると共に地域に訪れ歴史を肌で感じていただくきっかけになることを目的としてしているので、この内容が報道がされ、広く市民への周知につながっていると考える。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等

評価軸⑥-1  
その他(効果等)

評価対象年度 平成30年度

項目

「観光の振興」に向けた官民協働の取組

計画に記載している内容 「ならまち賑わい構想」(平成4年策定)、「新奈良町にぎわい構想」(平成29年策定)を基に、奈良町を中心に歴史的風致を生かす観光振興に官民協働で取り組んでいる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

ならまちにある公共施設、民間施設、企業、各種団体が、ならまち内の各会場で展示や模擬店を行う「ならまちわらべうたフェスタ」は、平成29年で25年目を迎えた。また、奈良市で初めて、地元の皆様との協働により運営される観光案内施設「旧鍋屋交番 きたまち案内所(奈良市きたまち鍋屋観光案内所)」が平成24年7月1日に半田横町にオープンし、平成25年5月25日には、手貝町にも、同様に協働により運営される観光案内施設「奈良市きたまち転害門観光案内所」がオープンした。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

わらべうたは子どもたちによって遊びの中で伝えられ、それぞれの時代の子どもの様子や人々の文化が表現されている貴重な無形文化遺産と位置づけ、「ならまちをわらべうたの似合うまちに」「ならまちからわらべうたを世界に発信しよう」を合言葉に、産官学だけでなく民までを含んだ産官学民連携による実行委員会形式で開催している。これら20~30の団体が参加し一体となり、近鉄奈良駅から音声館までの道のりを「わらべうたロード」と題しわらべうたに歌われている情景や遊びのイベントブースをならまちの中に点在する様々な施設を活用し界隈を回遊しながら楽しめるお祭りとして、10月第3日曜日に実施。



●わらべうたフェスタの様子

旧鍋屋交番きたまち案内所(奈良市きたまち鍋屋交番案内所)は、長らく地元の人に親しまれてきた旧奈良警察署鍋屋連絡所(明治41年設置、昭和3年に現在の半田横町に移転)を修理したものです。地域の保存を望む声により、官民が協働して改修を実施。地域のまちづくり団体、ボランティアにより、きたまちの玄関口として、地域の観光案内や地域活動の活性化、大学の研究・教育拠点などに利活用されています。毎年、近隣の大学と連携したイベント「きたまち大学校」や、奈良市のシンボル花のヤエザクラを巡るイベント等、地域に根差したイベントを実施している。(平成30年度の参加者数:きたまち大学校97人、八重桜巡り133人)

奈良市きたまち転害門観光案内所は、南都銀行手貝支店だった建物を修理したものです。地域の保存を望む声により改修を実施。地域のまちづくり団体、ボランティアにより、地域の観光案内や地域活動の活性化などに利活用されています。



●旧鍋屋交番 きたまち案内所  
(奈良市きたまち鍋屋観光案内所)



●奈良市きたまち転害門観光案内所

評価対象年度	平成30年度
法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称： 第9回 なら歴史まちづくり推進協議会	
会議等の開催日時：平成31年2月26日(火) 午前10時00分～	
(コメントの概要)	
<p>①「歴史的風致形成建造物指定及び候補一覧」の表で、歴史的風致の項目が追加された背景を説明してください。</p> <p>②「観光」という言葉は、昭和になってから広く普及したものだ。明治時代の状況を説明する際に「観光」を用いる場合には、今の観点からみた言葉の用法であることを理解したうえで使用してください。</p> <p>③候補物件の建物名称についての対応を説明してください。</p> <p>④No.30八木家住宅ですが、店をやめて住みだけになるのですか。それから計画をみると他の町家と雰囲気が違いますね。</p> <p>⑤奈良まちかど博物館事業について、評価シートに記載の「計画どおり進捗している」とはどういう意味ですか。</p> <p>⑥評価軸⑥-1「観光の振興」に向けた官民協働の取組で旧奈良警察署鍋屋連絡所を改築とありますが、改築という概念には当たらないため修正してください。</p> <p>⑦進捗評価シートの写真の撮影年次の表示方法とキャプションが揃ってないので統一してください。それから評価軸③-8三条線電線類美化事業ですが、掲載写真が古いので更新して撮影年の記載もしてください。</p> <p>⑧私は、この評価シートに掲載されているいくつかの事業に関わっています。事業の意義や評価が事業者が届いてない実感があります。事業者へ伝わるようにすれば、職員のモチベーションが上がり、この思いをみんなで共有できると良いと思います。</p>	
(今後の対応方針等)	
<p>※コメント①③④⑤に対して説明内容を表示 ⑥⑦⑧については、対応します。</p> <p>コメント①国交省から対象建物について、奈良市の維持向上すべき歴史的風致のどの部分に該当するのか説明を求められます。そこで奈良市歴史的風致維持向上計画の本文中に記載するなど建物の紐づけ箇所を説明できるように対応しています。もちろん奈良市として指定台帳を作る段階で、どのような歴史的風致であるかの評価は、必ずしています。候補物件が維持向上すべき歴史的風致のどの部分に紐づいているのか整理しています。ただ、この指定台帳を国へ提出しませんので、解りにくいとの指摘があります。また、事業の内容について、一般の人が見て解るように心掛けています。</p> <p>コメント③基本的に建物の特徴がわかるように人の名前、昔住んでいた方の名前に住宅の場合は、住宅を付けます。また貸家の場合は貸家を付けているものもあります。店をされている場合は、屋号を付けたいとの要望もありますので、その場合は店の名前となります。当然途中で、名称変更することも考えられますが、名称変更も変更事項に該当しますので、ご理解して頂いたうえで名称を決めています。</p> <p>コメント④計画は、はっきりされていませんが、ゆくゆくは店舗として活用したいとのことです。この建物の痕跡調査をしました。格子が付いていない店舗でした。また戸袋の中に古い建具が残っていたので、これと同じ意匠で計画しています。このような格子が無くて、開け放ちの意匠は、昭和初期からよく見られます。</p> <p>コメント⑤この奈良まちかど博物館事業に記載の事業が、計画通り進捗しているということです。目標もって館数を増やすことではなく、事業を継続していることをもって計画どおり進捗していると表現しています。</p>	